

# パキスタンで医療活動

## 沼津の若山さんら出発



アフガニスタンの難民支援のため、パキスタンに  
出発するアジア医師連絡協議会の若山さん（左から  
2人目）ら＝11日午前、成田空港

米軍の武力攻撃でアフガニスタンからの難民流出が予想されるパキスタンで医療支援を行うため、非政府組織「アジア医師連絡協議会」（AMDDA、本部岡山市）の医療チーム第一陣の五人が十一日午前、カラチに向け成田空港を出発した。

五人は聖隷沼津病院（沼津市）の医師若山由紀子さん（四巴）や東京都に住る外科医や小児科医ら。カラチでパキスタン支部のメンバーと合流

し、政情を調査した後、国境に近いクエッタ近郊で診療所の設営を目指す。難民流出は百五十万人とも予想され、子供の栄養状態や呼吸器系疾患も懸念されるという。

若山さんは「（現地では住民の）栄養状態が悪い。できる限りのことをしたい」と述べた。

AMDDAのパキスタン、カンボジア、インドネシア各支部の医師ら約二百人も加わる予定。